

## 平成30年度食のみやこ鳥取県づくり支援交付金 採択事業一覧（採択事業数14）

### ◆一般枠◆

事業主体	採択額	事業概要
	交付金 (千円)	
とっとりまちなかグルメパーク実行委員会	660	・主に40代までの若年層をターゲットにして、参加者が鳥取県産食材の美味しさ、素晴らしさを実感することと同時に、参加者同士の交流促進とまちなかの楽しみ創出を目的とする。
鳥取砂丘ビアフェスタ実行委員会	1,491	・まちなかににぎわいの演出と鳥取の食文化の振興を目的に昨年も開催。さらなる観光客誘致および鳥取の食材・食文化の認知拡大、まちなかににぎわい創出とその後の地域活性化を図る。
6次産業化してみよいや	292	・生産者が作った6次産業商品、農商工連携商品等を自ら消費者へ情報発信、PR販売し、ファンを増やすことに加え、鳥取県産商品の良さ、食のみやこ鳥取県をPRすることが目的。
公益社団法人鳥取青年会議所 中国地区コンファレンス実行委員会	1,500	・中国地方の各地青年会議所の会員が集結する『中国地区コンファレンス2018in鳥取』にて、鳥取の食文化をPR。鳥取県民の「カレーのまち鳥取」の気運を高め、「プリンセスかおり」の認知度向上、魅力浸透を図る。
大山ブランド会	1,500	・大山ブランド食品で大山圏域を盛り上げ、地域経済の活性化および地域生活の向上への寄与を目的として、「大山を“食べて！知って！来ていただく！”」をテーマに県内外にて「大山ブランド食品博」を実施。
とっとりご当地麺博覧会実行委員会 【台風接近により中止】	1,500	・地域のにぎわいの創出と地域の食文化の再発見を目指し、鳥取県をはじめとした山陰や全国のご当地麺を一堂に会し、山陰初の「ご当地麺博」を開催する。全国的に知名度の高い「B-1グランプリ」とのコラボに加え、「日本海テレビ開局60周年記念イベント」との同時開催により、メディア露出と情報発信力を高める。
角盤町商店街振興組合	1,464	・8月以降、毎月のプレミアムフライデーに地ビールおよび地元食材を活用した定期的なイベントを開催。
湯梨浜ONSEN・ガストロノミーウォーク実行委員会	544	ウォーキングをしながら地元の食材や飲み物を楽しむ、ガストロノミーウォークを開催 ・約9kmの東郷池周辺コースをめぐり、7箇所のおもてなしポイントに地元の職や地酒を配置、足湯などの温泉施設や観光スポットも組み合わせ、新しい観光プログラム。
奥大山プレミアム特別栽培米研究会	113	・日本一の米生産者を指導者として迎え、全国レベルの米コンテストへ出品、栽培技術の向上とブランド力の向上につとめる。 ・お米マイスター主催の合同商談会へ参加し、販路開拓を進める。
【コンベンションPR枠】 一般社団法人米子青年会議所 (60周年実行委員会)	188	・創立60周年祝賀会に参加される国内外のお客様に向け、伯耆地域の多様な食の魅力を県内外に発信することで、さらなる地域の発展を促す。
<b>一般枠合計</b>	<b>9,252</b>	
<b>◆特別枠◆</b>		
米子工業高等専門学校 B&C研究同好会	250	・秋田のきりたんぼを鳥取で作製し、米子がいな祭りに合わせるなど、メディア報道を通して鳥取県でのきりたんぼ認知を推進し、米の消費拡大に繋げる。
さかいみなと中野港漁村市実行委員会	134	・地元の幼稚園児が漁師から漁法や魚種などを学び、実際に食べることで地元の海の幸のおいしさ、素晴らしさを伝える。 ・昨年との違い：事前にとれる魚を学習、実際に捌くところを見学。
衣食住と文化の研究所	164	県外の料理研究者や農家を招いて、トークショーや料理教室などの食にまつわるイベントを開催することで、異文化交流を図る。 ・鳥取の食文化を外からの視点から発掘することで、地域性のある食生活や地域社会を見つめ直す。
岩美町商工会	200	・辻料理専門学校の協力により、冬の「いわみ八宝」ばばちゃん鍋グランプリを開催。 ・岩美大会グランプリに選ばれた作品は「ニッポン全国鍋グランプリ」に参戦する。
<b>特別枠合計</b>	<b>748</b>	
<b>合計</b>	<b>10,000</b>	